

モータースポーツ顕彰決定のご案内

鈴鹿サーキットでは1987年よりモータースポーツの発展、振興、ならびにファン拡大につながる顕著な活躍、活動、功績を残された個人、団体を対象にモータースポーツ顕彰を、また大きな活躍が期待される個人を対象にライジングアワードを設定し、その功績を広く知っていただくとともに感謝の意を表してまいりました。

2014年度も東京運動記者クラブモータースポーツ分科会、JMS(日本モータースポーツ記者会)、JRPA(日本レース写真家協会)、RRPA(日本ロードレースプレス協会)の皆様のご協力のもとに表彰者、団体を選出し、顕彰を決定いたしました。

なお、授彰者の皆様は2015年3月8日(日)、「2015 モータースポーツファン感謝デー」にて行われる授彰式に参加予定です。

■2014年モータースポーツ顕彰 (2014年に顕著な活躍をされた個人・団体など)



中須賀 克行

(なかすが かつゆき)

2014年、鈴鹿サーキットで開催された全日本ロードレースJSB1000クラスで、予選ポールポジションから接戦を制し優勝。2レース制で開催された最終戦MFJグランプリでは、両レースともにポールポジションを獲得。決勝レースにおいては、レース1で優勝、レース2を2位でフィニッシュし、3年連続5度目となる年間チャンピオンを獲得した。

最高峰クラスにおける3連覇は、平忠彦氏(1983年～1985年)、藤原儀彦氏(1987年～1989年)と並ぶ史上3人目で、また、通算5度目となる最高峰クラスでのチャンピオン獲得は、通算4回の伊藤真一氏(1990年、1998年、2005年、2006年)を抜いて、歴代最多の記録となる。



■2014年モータースポーツ特別顕彰 (2014年に特別な活躍をされた個人・団体など)



TOM'S

8月のSUPER GT第6戦「第43回 インターナショナル 鈴鹿1000km」では、PETRONAS TOM'S RC F(中嶋 一貴/ジェームス・ロシター組)がポールポジションからスタートし、優勝を飾った。11月のスーパーフォーミュラ最終戦「第13回JAF 鈴鹿グランプリ」では、チームメイト同士(中嶋 一貴/アンドレ・ロツテラー)で2レースのポールポジションを分け合い、決勝レースにおいては、レース1で2、3位を、レース2では優勝、2位を獲得した。

創立40周年を迎えた2014年シーズンは、スーパーフォーミュラでシリーズチャンピオン(ドライバー・チーム)を獲得。SUPER GTでは、シリーズ2位・3位を獲得するなど記念イヤーを見事な成績で飾った。



株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>

■2014年モータースポーツ功労顕彰 (長年にわたり、モータースポーツの発展に貢献された個人・団体など)



ウェストレーシングカーズ株式会社

鈴鹿市に拠点を構えるレーシングコンストラクター。1973年に開業し、1975年には「WEST759」を世に送り出し、中嶋悟氏のドライブにより鈴鹿シルバーカップレースFL500クラスで年間チャンピオンを獲得。以後、数々の鈴鹿FJ1600選手権、鈴鹿F4選手権で総合優勝を飾るマシンを設計・製造し、レーシングカーの総生産台数は1,000台を超える。近年では、初心者向けレース専用スポーツカー「VITA(ヴィータ)」を開発し、2014年鈴鹿クラブマンレースでは、延べ145台の参加者が集まるクラスの礎を築くなど、入門カテゴリーの活性化に貢献した。

また、2003年から鈴鹿サーキットで開催されている入門カテゴリー“フォーミュラEnjoy”については、カテゴリーを統括する運営協会に加盟し、他の加盟レーシングチームと協働で車両コンストラクターとして、その車両の設計・開発などに一役買って来た。

■2015年ライジングアワード・4輪 (2014年の活躍と2015年に更なる活躍が期待される4輪選手)



松下 信治

(まつした のぶはる 1993年10月13日生まれ 21歳)

2011年に鈴鹿サーキットレーシングスクール(SRS-F)を首席で卒業。2012年はフォーミュラチャレンジ・ジャパン(FCJ)に参戦し、ルーキーながらシリーズチャンピオンを獲得。全日本F3選手権参戦2年目となった2014年は、6勝を挙げHonda勢としては12年ぶりのシリーズチャンピオンに輝いた。

F1ドライバーを数多く輩出したGP2シリーズのオフシーズンテストに参加するなど、次世代の4輪レース界を背負う若手として期待を集めている。

■2015年ライジングアワード・2輪 (2014年の活躍と2015年に更なる活躍が期待される2輪選手)



鳥羽 海渡

(とば かいと 2000年4月7日生まれ 14歳)

2013年から全日本ロードレース選手権シリーズJ-GP3クラスに参戦。2014年シーズンは、最終戦MFJグランプリでの優勝を含め、シーズン最多となる3勝を挙げランキング3位を獲得。12~17歳で争われるユースカップでは2位を獲得した。

また、アジア地域におけるヤングライダーの発掘と育成を目的として開催されている、アジアタレントカップにも全日本ロードレースと並行して参戦。年間3勝を挙げ初代シリーズチャンピオンを獲得した。これからも、ロードレース界期待の若手として、大きな活躍が期待されている。

※年齢は2015年1月22日現在

当顕彰の授彰式が行われる「2015モータースポーツファン感謝デー」への特別無料ご招待券を、
ホームページにてダウンロードいただけます

<ゆうえんちモトピアパスポートが割引になるクーポン券付>

詳細は鈴鹿サーキット公式ウェブサイトをご覧ください。 http://www.suzukacircuit.jp/msfan_s/

株式会社 モビリティランド

東京オフィス 〒104-0028 東京都中央区八重洲 2-6-20
鈴鹿サーキット 〒510-0295 三重県鈴鹿市稲生町 7992

TEL(03)3278-0731 FAX(03)3278-0733 E-mail: media@mobilityland.co.jp
TEL(059)378-1111 FAX(059)378-4568 URL <http://www.suzukacircuit.jp/>